

マーケティングの出番ですか？

第89回 金融とアートを中心、
ニューヨークで生まれたNFTアート

Aya Kubosumi ノマドマーケター

「マーケティングの出番ですか？」と題して、主に、モノづくり企業で製品開発、生産に従事される技術者の方々を対象に、お仕事に“役立つ”、“必要な”、そして“面白い”マーケティング関連情報、知識、事例、最新トピック等を幅広くご紹介させていただきます。

苦境が続くアートシーンの中、今回はニューヨークで頭角を現しつつあるNFT (Non Fungible Token、非代替性トークン)アートビジネスをご紹介します。

●NFTアートの誕生

こちらの画像をご覧になられたことはおありでしょうか。このデジタルアート、NFT (Non Fungible Token、非代替性トークン) アートは、2021年3月に758万ドル (約8億3400万円) で売られた Larva Labsによるデジタルアートクリプトパンクスの"CryptoPunk #3100"です。クリプトパンクスは24×24、8ビットのピクセルアートで、パンクをテーマにした100000種類のキャラクターがあるコレクション作品です。



NFTアートは、仮想通貨に用いられているブロックチェーンの暗号化技術を活用し、デジタル資産に対して著作権とは別に、オリジナル版であることの証明や売買取引、所有権履歴などの記録が付与され、識別することができます。複製技術によりオリジナル性や希少性という価値が担保されづらかったデジタル作品にこれらの価値を付与することができるとともに、物理的な絵画作品と同様に、元値より高額で転売された場合、その利益を、デジタルアート作品を制作したアーティストが得られるなど、デジタル作品を創作するクリエイターにとっても大きなメリットがあります。

●世界初の物理的NFTアートギャラリー
in New York

コロナ禍で突如立ち現れたNFTアートのトレーディングブームの時期と重なるように、2021年3月25日、ニューヨークのマンハッタンに世界初のNFTアート専門のギャラリー、Superchief Gallery NFTが誕生しました。

ギャラリーの空間に4Kディスプレイで映し出されたNFTアートを没入しながら鑑賞する体験と、ウェ

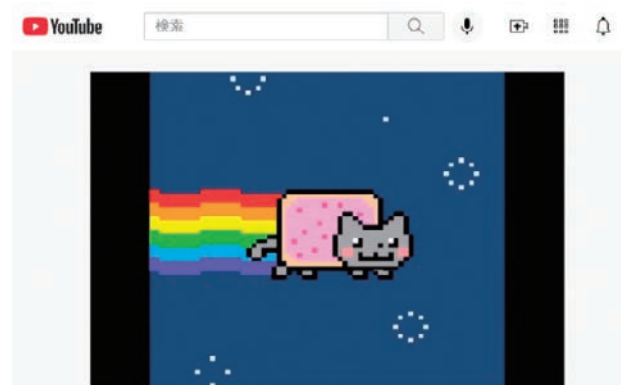


ブ上で小さなスクリーンで眺める鑑賞体験には大きな違いがあり、NFTアートを飾って鑑賞するには、それなりのツールや環境が必要になることを認識します。また、NFTアートを日常の生活空間に設置することと、日常に溶け込んだ空間で鑑賞することへの障壁も感じます。

一般的に、NFTアートは社会課題などの問題提起、政治や権力に対する批判などを孕む現代美術のカテゴリーに位置づけられますが、ギャラリーに展示されているNFTアート作品群はデジタル性も相俟ってか、全体的にかなりエッジの効いた作品が多く、日本人アーティストの作品も展示されています。

●アーティストを支援する
プラットフォームとしてのNFTアート

NFTアートはブロックチェーン技術を用いて、アーティストと顧客、ファンとの取引や関係性に新たな機会と可能性をもたらしています。NFTアートでは作品のデジタル証書に所有権や取引履歴などが全て埋め込まれるため、アーティストは作品販売時に印税を設定でき、転売されるたびに一定の収益を得られます。こうしたNFTアートの透明性から、アーティストは単に作品を制作するだけでなく、その地位を高め、作品が持つ経済的、社会的な価値や機会をどのように還元していくかを自身で能動的にデザインし、ステークホルダーとオープンでフラットな関係性やコミュニティを構築できます。ここに、NFTアートが私たちの未来に大きな変化を生



GIFアニメ"ニャンキャット (Nyan Cat, <http://www.nyan.cat/>)

む可能性が感じられます。

現在、NFTアートの購買層は、男性が圧倒的で、仮想通貨や株への投資など金融商品に関心が高いウォール街で働いているような富裕層が多く、従来のファインアートのように、アートそのものへの関心の高さよりも、仮想通貨への関心や投資目的としてアートに関心を持つ点が特徴的です。

●NFTアートはどこへゆくのか - NFTアートの可能性と未来への示唆

2021年の四半期でNFTアート市場は800%超に急成長し、その取引額は490百万ドル（約540億円）と推定されています。11月にニューヨークで開催予定のNFTアートイベントのNFT.NYCはVIPチケットを除き、全ての参加チケットが売り切れとなっています。ちなみにブロックチェーン技術を使ったNFTはアートのみならず、ルイ・ヴィトンなどの高級ブランドが自社製品に真贋の証明に活用したり、グッチがNFTスニーカーの発売をしたりなど、様々な展開を見せつつあります。

一方で、NFTアートの取引に利用されている仮想通貨イーサリウムをマイニングするためには、多くの電力を消費する高性能コンピュータを使用することが必要で、この電力消費のために二酸化炭素の排出量の増加を引き起こしている等、NFTアートのネガティブな影響

や課題も指摘されています。

ブロックチェーン技術、デジタルテクノロジー、金融、そしてアートが交錯し、サブカルチャーとともに立ち現れ、その存在感を示しつつあるNFTアート。課題やネガティブな影響が指摘されつつありますが、私たちの様々な既存概念や価値、既存市場に大きな変化をもたらす新たな可能性を秘めています。制作、保管、購入、鑑賞、所有といったアートに関する一連の体験や価値、アーティストと顧客、コミュニティとの関係性に留まらず、今までの「所有」という概念や「複製可能なデジタルデータにおけるリアル（本物）」の概念への問題提起など、既存のアートおよび金融市場に異議を唱える動きが加速しそうな予感がします。まさにアートは時代を映す鏡です。



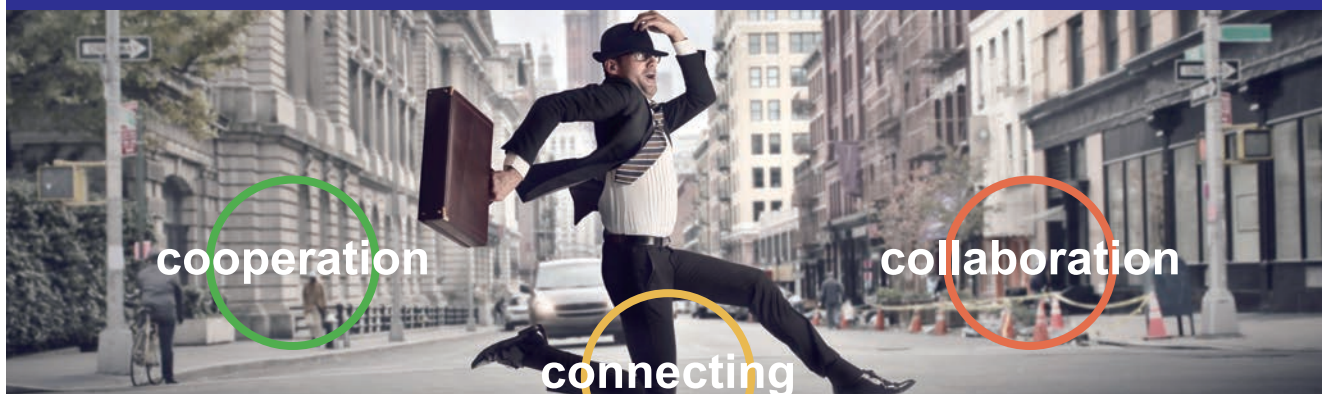
Aya Kubosumi (ノマドマーケター)

コニカミノルタ、大阪ガスで行動観察やユーザーリサーチに携わったのち、GOB Incubation Partnersを創業。夫の転職に伴い、東京から家族とともにNYに移住。ノマドマーケターとして、NYの人々、もの、こと、を日々観察、体験したことを素材に、日本の商品開発に携わる皆さまと共有したいインサイトを綴ります。

独創的な新製品／サービス・事業開発を実現する マザー・マーケティングプラットフォーム

mo4ma

thership rkers



mothership4marketers は、業種、組織、時間、距離を超えて内外のマーケティング実務者をオープンに結びつけ（Connecting）、共同（Cooperation）、協力（Collaboration）することで新製品／サービス・新事業開発を成功させる『次なる段階』のマザー・マーケティングサービスプラットフォームです。



mo4ma
<https://www.mo4ma.org/>

デンプロクシー

ウェルコインターナショナル

〒153-0065 東京都目黒区中町 2 丁目 50 番 13 号 13 階 4F 号

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-10-9 原宿聖友ビル 8F

Tel. 03-6412-8780 info@mo4ma.org

Tel. 03-6418-5519 info@wellco.org

資料請求番号 12111-04701